



スミウキゴリ号

12月定例クリーンアップ

【活動報告1】

12月27日(日) 10:00~11:00 晴れ

深沢大地

実施内容：六浦二号橋～大道橋（土嚢袋2袋）

参加者：飯岡学、今井康祥、今井翔太(中3)、山口政祥、山口葵生(年長)、柏倉正和、柏倉陽向(中2)、柏倉陽斗(小5)、金子英司、小池碧馬、貞廣宇保(中2)、五月女陽斗(小6)、深沢大地(計13名)

気づいた点：全体的にゴミは少なめ。1.5m程度の鉄パイプがあった。



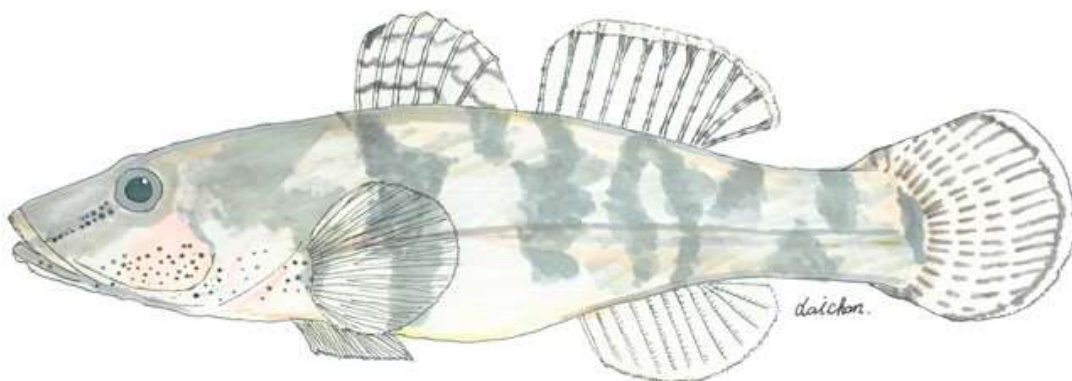
スミウキゴリ（墨浮吾里、墨浮鯰）

学名：*Gymnogobius petschiliensis* (Rendahl, 1924)

最大で15cm程に成長するハゼの仲間。北海道から九州まで広く分布し、主に河川中流域から河口域に生息する。近縁のウキゴリ（だぼはぜ通信37号）と良く似ているが、第1背鰭後端に黒色斑が無い事で区別できる。

産卵は待従川のハゼ類では最も早い12月頃から行われ、4月頃まで続く。メスは石の裏に塊で産み、オスは孵化するまで石の下で卵塊を守る。孵化した稚魚は一度海に降り、3cm程に成長すると群れで川を遡上する。待従川でも初夏になると中流から下流域にかけて沢山の幼魚を見ることができる。ウキゴリよりも下流に生息するとされるが、待従川ではシマヨシノボリと並びかなり上流まで生息する種類。

深沢大地



2月定例クリーンアップ

【活動報告2】

2月28日(日) 10:00~11:50 晴れ

飯村優介

実施内容：六浦2号橋～大道橋（土嚢袋6袋と傘）

参加者：山田陽治、飯岡学、深沢大地、和田崇、和田啓吾
(小5)、沖田萌美、沖田正孝、柴田繭子、柴田真菜(中
3)、柴田幸成(小4)、今井康祥、今井翔太(中3)、柏
倉正和、柏倉陽向(中2)、柏倉陽斗(小5)、貞廣宇保
(中2)、五月女陽斗(小6)、飯村優介(計18名)



気づいた点：今月は好天で、参加者も多く、調査も良い成果がありました。

回収困難な粗大なカバーは治水事務所に依頼しました。

スミウキゴリの卵塊、二ホンウナギを大小2匹確保など良い見せ場がありました。



スミウキゴリの卵塊



二ホンウナギ



活動風景

朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

侍従川源流域から三浦半島周辺の山々は冬もキノコシーズン。

水分が多く灰白色の木、エノキ、ケヤキ、ミズキ、クワ等にエノキタケ、アラゲキクラゲ、ヒラタケが出る。コナラ、スダジイ等にはシイタケの天然が出る。天然シイタケは地形と気流の条件や山道の手入れなどの要因もある。尾根をからむハイキングコース脇などチャンスがある。



エノキタケ



ヒラタケ



シイタケ

トピックス

1/24(日) 定例クリーンアップ・大道溪谷保全作業は、雨天のため中止

1月に実施予定のネイチャークラフト教室は、緊急事態宣言発出のため中止

3月に企画した「ちょこっと裏山ハイク、弓矢で遊ぼう！」も緊急事態宣言延長のため中止

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～
～ サキシママダラ ～



学名：*Lycodon rufozonatus walli*

体長：50～100 cm 分布：宮古諸島、八重山諸島、与那国島

先島諸島ではごく普通に見られるヘビで、無毒である。性質は大人しく、威嚇はせず、捕まえたりしない限りは咬みつかない。しかし、尾を掴むと総排泄口から悪臭を放ち、これが中々落ちない。主に湿気のある林内や水田、溪流、湿地環境で生活し、両生類、爬虫類を捕食しているが、これらのエサが生息しない小さな島の個体群は鳥類やその卵を食べるため、エサのサイズが大きい分大型化する傾向にある。国内には別亜種アカマダラが生息しており、こちらは対馬、尖閣諸島に生息する。

監修：熊井健（沖縄在住）

生き物発見記録その1

12/27（日）大道溪谷（金沢区大道一丁目）でヤマアカガエルを発見（金子）

大道東橋付近（金沢区大道一丁目）で鳥類の死体(種類不明)を発見（深沢）

1/16（土）金沢区瀬戸でネズミ類の死体を発見（柏倉）

※金沢動物園の先崎氏に写真を見て頂いた所、恐らくドブネズミだそうです。



北の国から ～そこには建てないで再生エネルギー～ 瀧本宏昭

私が住む苫小牧市の近くでは風力発電やソーラーパネル発電施設がよく見られるようになってきました。読者の皆さんのお家の近くでは見られますか？

自然の力を利用するのでエネルギー源が無くなることや、二酸化酸素の排出量削減などメリットがあることから、環境保護のために世界で注目され、日本でも設置が進められています。私もその発電方法には反対ではありませんが、しばしば設置場所に問題があることがあります。

業者さんによってはしっかりと配慮してくださっているのですが、時に湿原を大規模に埋め立ててのソーラーパネル設置や、絶滅危惧種の衝突する可能性がある場所に風力発電が作られることなどが見られます。

ソーラーパネルで言えば、以前さのしんとゲンゴロウモドキを採った湿原がつぶされてしまいました。また、最近近所では苫東厚真風力発電事業が立ち上がりました。

この計画地は、日本国内で136つがいしかいないチュウヒというタカの仲間が複数子育てしていたり、オジロワシやタンチョウも子育てする場所です。

どれも国のお金で保護事象が進められている種です（国内希少野生動植物種）。

また、海外の論文では風力発電建設地から1km以内のヒバリなどの小鳥の生息数が減る事例が報告されていて、その他の鳥類への悪影響も心配です。

現在計画は進行中で、計画の内容が書かれた方法書がサイトで閲覧できるようになっていて、一般の意見が募集されている段階です。

ご興味がある方は、googleで「苫東厚真 風力発電 方法書」と検索してみてください。

私の仕事では、こういった野鳥など自然環境に悪影響が考えられる発電事業に対して、自然保護のために意見を伝えるということもしています。

再生エネルギー発電が増える一方で、こういった問題も発生していることを知っていただければありがたいです。



オジロワシ



業者が風の測定などのために設置した風況ポール

侍従川調査報告 学生部

2020年12月27日(日)

【クリーンアップ調査】 【調査範囲】 六浦二号橋～大道橋

【採集した生物】 【魚類】 チチブ、スミウキゴリ、スミウキゴリの卵塊(1)、ウロハゼ、マハゼ、ビリンゴ、シマヨシノボリ、ミミズハゼの仲間、メダカの仲間、ボラ

【甲殻類】 モクズガニ、ミゾレヌマエビ、クロベンケイガニ(脱皮殻)

【貝類】 タイワンシジミ、カワニナ、コモチカワツボ、イシマキガイ

【鳥類】 オオバン(死体)、カルガモ、コサギ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、キセキレイ、鳥の仲間(死体)

【爬虫類】 アオダイショウ(脱皮殻)

【備考】 スミウキゴリの卵塊が大道東橋の少し下流(水位表示の板がある辺り)で1つ確認された。

【ホトケドジョウ調査】 【場所】 大道中学校校庭北西側の水路 【記録】 深沢

【時間】 14:50～15:10 【参加者】 深沢、今井(翔)、貞廣、柏倉、五月女

【採取した生物】 ホトケドジョウ(101)、ミズムシの仲間(多数)、キベリヒラタガムシ(15)

【備考】 約20分間の採集で100頭を超えるホトケドジョウが確認された。サイズは4～5cm程の成魚が8割と1～2cm程の幼魚が2割程。

下流側で水路が詰まって溢れており、本来水路ではない場所でも確認された。校庭奥の水路付近だけでも今回の数の倍以上は生息していると予想される。



ホトケドジョウの生息環境

大道溪谷保全作業報告

実施日：12月27日(日)、2月28日(日) 13時～15時30分頃

参加者：深沢、今井康祥、今井翔太、飯村、柴田繭子、柴田真菜、柴田幸成、貞廣、柏倉、五月女、山田、金子、大野

主な作業内容：水路の掘削、笹の伐採、倒木の処理、ホトケドジョウの個体数調査

今年度も大道溪谷保全作業を実施しました。例年通り、ゲンジボタルの生育環境を整えることを目的に、保全前の環境から必要な作業内容を判断し、作業に移りました。



作業前の水路

今年は特に台風の影響と思われる倒木や、例年以上の土砂の堆積が見られたため、大道溪谷の谷戸における倒木の処理（飛翔環境の確保）、止水状態の水路の掘削（ゲンジボタルは流水性）を重点的に整備しました。また、毎年の事ですですがホタルの飛翔を妨げていると思われる笹藪の伐採作業も実施しました。

ここ数年の作業内容から、必要とされる作業の大半が一緒だということが分かります。特に笹藪の伐採や水路掘削は、毎年大きな労力を伴うため、笹藪の根本的な除去や土留めによる土砂の堆積防止など、今後はより計画的な作業を実施していければと考えています。来年度も実施予定ですので、その際はまた、会員の皆様のお力をお借りできれば幸いです。

学生部スタッフ 金子英司



作業後の水路



笹を刈った箇所



作業中に見つけたヤマアカガエル



作業後の水路

生き物発見記録その2

2/28 (日) 大道中学校 (金沢区大道一丁目) 上空でノスリを発見 (貞廣)

2/28 (日) 加寿美橋付近 (金沢区大道一丁目) で貝類の死殻を発見 (深沢) ※右岸に多数の貝殻が打ち上がっていました。

サザエやイタヤガイ科が複数種等、侍従川ではあまり見られない種目つビーチコーミングで人気の高い種が主だったので投棄物かと考えましたが、量がかかなり多かった事やフジツボ類が附着した流木が同所にあった事、大潮だった事を踏まえると海から流されて来た可能性が高そうです。

3/10 (水) 野島海岸 (金沢区乙舳町) でミサゴを発見 (深沢)



2020年度 学生部水鳥調査報告

<目的> 侍従川及び平潟湾に生息する水鳥の種類と個体数の把握

<対象> 水辺に依存する種を中心とした鳥類全般

<範囲> 昨年度までの5地点(①~⑤)に平潟湾(A)を加えた6地点

- ① 野島公園駅~野島海岸(前浜) ② 野島水路~夕照橋 A 平潟湾
 ③ 平潟橋~内川橋 ④ 内川橋~六浦二号橋 ⑤ 六浦二号橋~第二山王橋



<方法> 海, 川沿いを徒歩で移動, 目視で種類と数を記録.

観察は双眼鏡, フィールドスコープを使用.

記録はデジタルカメラ, 携帯メモを使用.

<参加者> 深沢, 貞廣, 柏倉, 津島

<日程> 2020年11月15日(日), 12月19日(土),
 2021年1月16日(土), 2月20日(土)

<備考> 水鳥調査リスト ※表1は2016年度から行っている学生部調査で確認された鳥類の中から水辺に生息する種を選抜したものを使用した. 掲載順は日本鳥類目録7版に従った.

【表1】

| 種数 | 分類(目) | 分類(科) | 分類(属) | 和名 | 2020/ 11/15 | 2020/ 12/19 | 2021/ 1/16 | 2021/ 2/20 |
|----|-------|-------|-----------|----------|----------------|----------------|---------------|---------------|
| 1 | カモ目 | カモ科 | マガモ属 | ヨシガモ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | | | | ヒドリガモ | 15 | 38 | 21 | 45 |
| 3 | | | | カルガモ | 6 | 0 | 14 | 4 |
| 4 | | | | オナガガモ | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 5 | | | スズガモ属 | ホシハジロ | 0 | 2 | 6 | 1 |
| 6 | | | | キンクロハジロ | 0 | 2 | 0 | 10 |
| 7 | | | | スズガモ | 3 | 199 | 435 | 332 |
| 8 | | | ビロードキンクロ属 | ビロードキンクロ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | | | | クロガモ | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 種数 | 分類(目) | 分類(科) | 分類(属) | 和名 | 2020/ 11/15 | 2020/ 12/19 | 2021/ 1/16 | 2021/ 2/20 |
|----|---------|---------|------------|-----------|----------------|----------------|---------------|---------------|
| 10 | | | ウミアイサ属 | ウミアイサ | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 11 | カイツブリ目 | カイツブリ科 | カイツブリ属 | カイツブリ | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 12 | | | カンムリカイツブリ属 | カンムリカイツブリ | 2 | 3 | 19 | 8 |
| 13 | | | | ハジロカイツブリ | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 14 | カツオドリ目 | ウ科 | ウ属 | カワウ | 19 | 12 | 9 | 5 |
| 15 | | | | ウミウ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 16 | ペリカン目 | サギ科 | ゴイサギ属 | ゴイサギ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 17 | | | アオサギ属 | アオサギ | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 18 | | | コサギ属 | コサギ | 8 | 1 | 0 | 0 |
| 19 | ツル目 | クイナ科 | オオバン属 | オオバン | 51 | 110 | 59 | 86 |
| 20 | チドリ目 | セイタカシギ科 | セイタカシギ属 | セイタカシギ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 21 | | シギ科 | イソシギ属 | イソシギ | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 22 | | カモメ科 | カモメ属 | ユリカモメ | 9 | 30 | 145 | 0 |
| 23 | | | | ウミネコ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 24 | | | | セグロカモメ | 0 | 6 | 8 | 1 |
| 25 | | | | オオセグロカモメ | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 26 | タカ目 | ミサゴ科 | ミサゴ属 | ミサゴ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 27 | ブッポウソウ目 | カワセミ科 | カワセミ属 | カワセミ | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 28 | スズメ目 | ヒタキ科 | イソヒヨドリ属 | イソヒヨドリ | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 29 | | セキレイ科 | セキレイ属 | キセキレイ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30 | | | | ハクセキレイ | 3 | 4 | 1 | 6 |

<調査結果>

スズガモ…本年度の最大数は435羽であった。2017年度（1016羽）、2018年度（669羽）、2019年度（552羽）と比較すると減少傾向にある。

カイツブリ…昨年度の初記録種で、本年度も2回確認出来た。昨年度まで見られなかった要因は平潟湾を調査範囲としていなかった事が考えられる。

カンムリカイツブリ…学生部水鳥調査（以下本調査とする）を開始した2016年度から毎年見られており、本年度は1月16日の調査で過去最大である19羽を観測した。

イソシギ…野島海岸周辺に少数が生息する。近年中流域でも観察されているが本年度は範囲①③のみで記録された。



スズガモの群れに混ざるキンクロハジロ



カイツブリ

ユリカモメ…野島海岸や平潟湾に多数飛来するが、見られる数は漁船の動きに大きく影響される。

オオセグロカモメ…本調査初記録の種。調査外では数度観察しているが、稀である。範囲②にて野島水路対岸、追浜側を飛翔する姿を撮影した。



カンムリカイツブリ



オオセグロカモメ



イソヒヨドリ若雄

- ・ヨシガモ、ビロードキンクロ、クロガモ、ウミウ、ゴイサギ、セイタカシギ、ウミネコ、ミサゴ、キセキレイは確認出来なかった。
- ・ゴイサギは2010年頃までは中流域で普通に見られたが、近年は殆ど見られなくなった。
- ・ミサゴは野島公園周辺の海域に少数が生息するが、本年度の調査では見られなかった。
- ・キセキレイは本調査では未確認だが、クリーンアップや上流域調査で数回確認されている為リストに掲載した。本調査で見られなかったのは主な生息域が調査区間よりやや上流である事が考えられる。
- ・その他の種は侍従川流域では稀である。
- ・今後は上流～源流域、止水域の調査や、冬季以外の調査も行っていきたい。

学生部スタッフ 深沢大地

事務局だより

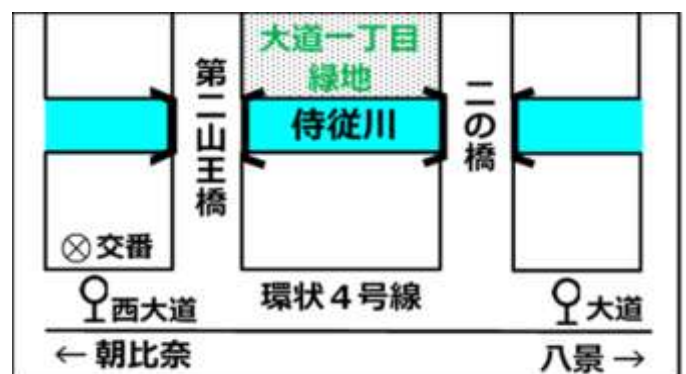
◆4月～6月の活動予定

☆定例クリーンアップ4/25(日)、

5/23(日)、6/27(日) ※雨天中止

10時～11時 大道一丁目緑地(ちとせ園) 集合

今後も**開始時間は10時**とします。ご注意ください。



持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆4/4 (日) 野草摘み・料理

大道一丁目緑地 (ちとせ園) 9:30集合 解散 (大道一丁目緑地) 14時30分頃

4月2日までにメールにて要申込み (材料準備の為) ※雨天中止

【申し込み先】寺尾 mail: teraokhr_m.8991@docomo.ne.jp

参加費: 会員無料、非会員300円

活動場所: 午前→朝比奈町で野草摘み 午後→大道一丁目緑地 (ちとせ園) で野草料理
試食 (天ぷらのみ)

持ち物: 参加費 (非会員)、山歩き出来る格好、摘んだ野草を入れる袋 (レジ袋など)、タオル、軍手、レジャーシート (必要な人)、長靴 (持って来れる人)、お昼ご飯 (買い弁可)、箸、器、マスク、マスク予備、除菌対策、その他

■学生部の活動

☆定例調査4/25(日)、5/23(日)、6/27(日)

定例クリーンアップ後の午後に実施

☆新入生歓迎遠足はコロナの状況を見つつ開催します (5月以降になるかもしれません)

<<役員交代のお知らせ>>

クリーンアップクラブリーダー: (旧) 山田陽治→(新) 飯村優介

来年度の総会で承認を得ることになります。皆さまよろしくお願ひします。

<< 新型コロナウイルスの対応について >>

4月以降も例年どおりの活動を予定していますが、状況により変更・中止となる
ことがあるので、活動の詳細は、ホームページ及びメーリングリストでお知らせし
ます。ご了承ください。

飯村さんから展覧会のお知らせです。

2021独立春季新人選抜展

2021年3月25日(木)～31日(水) 会期中無休 入場無料

(最終日は午後3時閉会、入場は午後2時30分まで)

入場時間: 9:30～17:00

会場: 東京都美術館 (上野公園内) L B F 第4展示室

展覧会のサイト: <http://www.dokuritsuten.com/shinjin/2021/index.html>

《編集後記》 緊急事態宣言発出・延長のため、毎年1月に行っているネイチャークラフト教室や、代わりに企画した「ちょこっと裏山ハイク、弓矢で遊ぼう!」も残念ながら中止になってしまいました。年度明けの野草摘み・料理 (4/4 (日)) は実施できるといいですね。(MK)